ITmedia Inc.

ピックアップテーマ

危機管理対策
～震災の教訓をつなげる「次に備えるIT活用」～

■特集期間：2026年9月上旬～12月末（予定）

■お申込み締切： 2026年10月2日（金）

ピックアップテーマとは

専門メディア編集部が注目するテーマについて、編集記事を集約した特集ページを開設
メディアと連携した企画展開で、貴社コンテンツをターゲット読者・会員に訴求します

特集ページを開設

編集部が注目するテーマについて特集ページを開設します。貴社コンテンツに加えて編集部による解説や関連する編集記事を掲載して、専門性が高く情報収集に熱心な読者に情報発信をします。

認知向上も実現

専門メディアバナー広告枠を利用し、本特集ページへメディア上から誘導をかけます。通常のリード獲得案件に比べてターゲット読者・会員の認知向上も実現できます。

コンテンツ制作付き
お得なプラン

本特集ならではの費用対効果を見込めるお得なプランを用意しております。PRする絶好の場として、本特集をご活用いただけますと幸いです。

© ITmedia Inc.

【IT全般】特集展開イメージ

ホワイトペーパー
ダウンロードセンター特設枠

ホワイトペーパーダウンロードセンターに表示されるバナー広告で本特集を告知することで、ホワイトペーパーの閲覧を目的に訪れる読者を呼び込みます。

TechTargetジャパン
サイト上での特集告知

TechTargetジャパン等に掲載されるバナー枠から、告知します。

ミドルページ（イメージ）

※ミドルページPVの算出・レポートは行っておりません

貴社コンテンツ

メールや電話で貴社コンテンツに読者を誘導します

© ITmedia Inc.

特集テーマ詳細：危機管理対策～震災の教訓をつなげる「次に備えるIT活用」～

「何が機能し、何が不足していたのか」を紐解き、教訓を未来へとつなげる「次に備えるIT活用」を提案

2026年7月の熊本地震において、事前の防災対策により初動対応やデータ共有が円滑に進んだ事例が見られた一方、安否確認の遅れやサプライチェーンの混乱など、新たな課題も浮き彫りとなりました。本特集では、今回の震災で得られた成果と顕在化した教訓を検証。「マニュアルはあるが実効性が不足している」「多様な働き方に対応できていない」といった課題に対し、最新のITツールを活用して危機管理体制を真に機能する形へとアップデートする重要性を発信します。対策の再構築を目指す企業に向けて貴社の先進的なツールやサービス事例を提示する場としてご活用ください。

キーワード	安否確認システム（GPS・マルチデバイス対応）、クラウド型BCP・防災情報共有プラットフォーム、クラウドバックアップ 、 DR（災害復旧）ソリューション、サプライチェーン・リスク管理・可視化ツール、緊急時対応ビジネスチャット、衛星IP電話・緊急時通信バックアップサービス、リスク情報解析サービス、オンライン訓練・教育プラットフォーム など
読者の課題	安否確認の形骸化、テレワーク・分散型勤務時の初動遅れ、サプライチェーンの被災状況の不透明さ、バックアップ不足による「データ消失・システム停止」、リスクマニュアルの形骸化有事 など
想定リード属性	経営層、経営企画職、情報システム部門の意思決定者、総務部、BCP・危機管理対策推進室 など
実施メディア	TechTargetジャパン
実施期間	2026年9月上旬～12月末（予定）
申込締切	2026年10月2日（金）※お申し込み後、コンテンツの準備ができ次第 随時特集ページに掲載します
提供リード数例	110件保証～（プラン毎に異なります）
料金例	90万円～（プラン毎に異なります）

特集ページ イメージ

※締切日以降の後乗りも可能ですが、掲載開始時期によっては特典の一部をご提供できかねる場合があります

© ITmedia Inc.

スポンサープラン

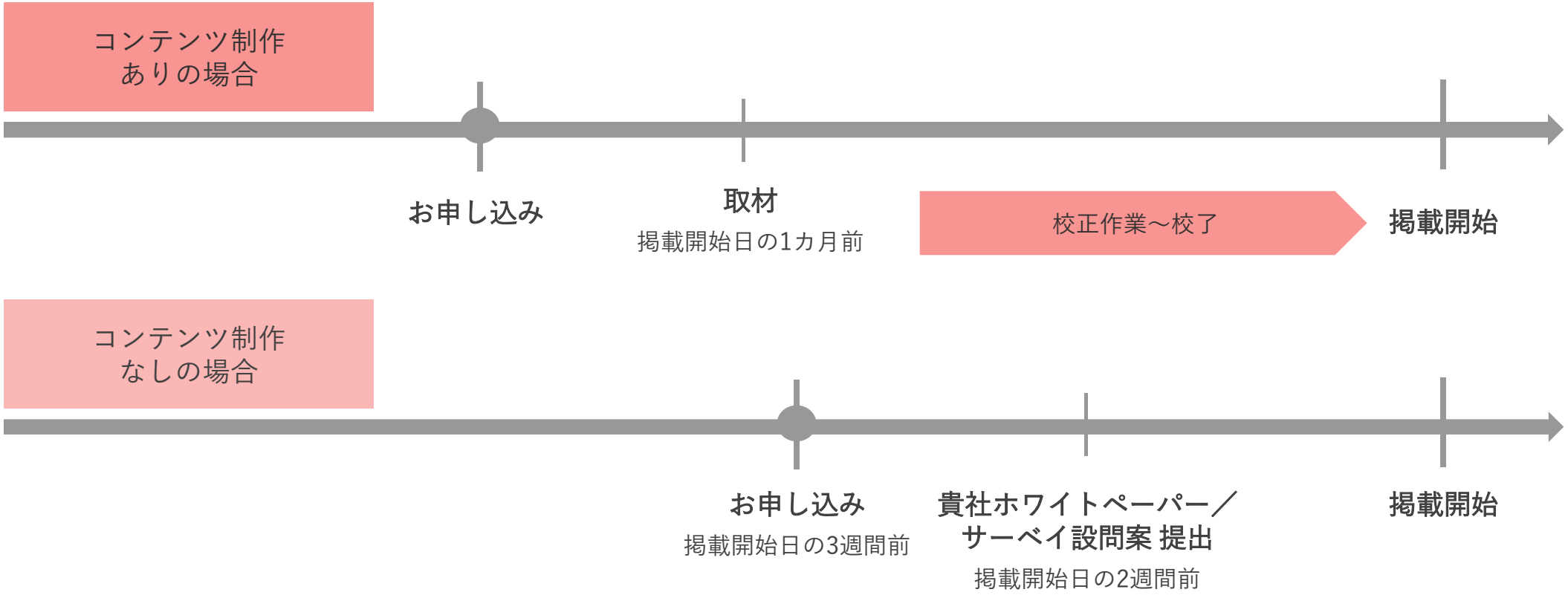
ご提供内容	記事制作プラン	リード増量プラン
オンラインリード獲得 • 件数保証でご提供いたします • 属性はユーザー企業となります ※獲得条件の変更は、担当営業までお問い合わせください	180件保証	110件保証
コンテンツ制作オプション • リード獲得用のコンテンツを制作します • アンケートの設問内容は貴社にてご用意ください	編集タイアップ x 1 サーベイフォーム x 1	サーベイフォーム x 1
必要となる**新規コンテンツ数** • お手持ちのコンテンツをご用意ください • 記事制作を含むプランでは、新規制作するコンテンツに加えて、右記の本数をご用意ください	貴社コンテンツ x 2	貴社コンテンツ x 2
企画特典 • 本企画の協賛で、右記の特典をご提供いたします	● ピックアップテーマのミドルページに掲載 ● 特集限定のお得なディスカウント価格	
ご協賛料金	¥1,700,000 （定価から44万円OFF） 55件分のリードを実質無料でご提供	¥900,000 （定価から18万円OFF）

※ 必要コンテンツ数のご準備が難しい場合は、新規コンテンツ制作（有償オプション）やITmediaコンテンツの利用（無償利用可）をご提案可能です
※ 本企画では獲得ペースに応じて【電話によるコンテンツへの誘導】【コンテンツ追加依頼】などの獲得進捗向上施策を行う場合がございます
※ 「ユーザー企業」プランは、会員登録時に下記の業種を選択している会員を納品いたします。
製造業（IT関連以外）／ 通信サービス業／流通・小売・サービス業／建設・建築業／金融業・保険業／教育・学習支援業／医療・福祉／政府・官公庁・団体／その他の業種

© ITmedia Inc.

想定スケジュール

コンテンツ制作の有無によって、掲載までのスケジュールが異なるのでご注意ください。



※上記は一例です。掲載までのスケジュールはお申し込み後、別途ご案内いたしますので、各営業担当にお問い合わせください。
※上記は標準時のスケジュールとなり、校正の回数が増える場合や特別対応の場合、上記と異なる場合もございます
※コンテンツの準備ができ次第、随時特集ページに掲載いたします

© ITmedia Inc.

制作物仕様・オプション

編集タイアップ 仕様詳細

編集部が企画、取材、編集を担当するタイアップ記事を制作（二次利用も可能）

- 編集タイアップについて
  - 編集部が企画、取材、編集を担当するタイアップ記事広告です
  - 冒頭部分はだれでも閲覧でき、「続きを読む」でリードを獲得します
- コンテンツ仕様
  - ページ数：1html
  - 文字数：4,000文字程度（うち、500文字程度が公開ページ掲載分）
  - 図版点数：3点まで（写真／イメージ図版主体）
  - 企画協力：あり
  - 取材有無：あり
- 備考
  - 取材から掲載までの期間は約17営業日となります
  - 原稿の校正はテキスト原稿、HTMLの各1回ずつを想定しており、校正の回数に応じて、公開までの日数は適宜変動いたします
  - 記事広告内に掲載するイメージ図版は貴社にてご用意ください
  - 終了後も一部を除きコンテンツは掲載され続けます
  - タイアップ記事のPV、UBのレポートはございません
  - 遠方での取材や有識者のアサイン、特別な制作費（イラストなど）が発生する場合は、別途追加費用を申し受けます
  - 広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下費用が発生します
    - 初校の出し直し：¥300,000、念校以降の修正：¥100,000
- 二次利用について
  - 制作した記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ（ライター、カメラマンなど）に帰属します
  - 本企画にて制作した記事広告は、改変がなければ無償で二次利用していただくことが可能です（ウェブ上での利用に限定、要出典表記）
  - 印刷物でのご利用は二次利用費が発生いたしますので、利用をご希望される場合は、担当営業までお問い合わせください
- オプション：カスタム記事パンフレット制作
  - 制作した編集タイアップ記事をPDFや印刷物でご利用いただける有料オプションもございます。詳細は担当営業までお問い合わせください

※二次利用には一部条件がございます

ITmedia Inc.

ニューノーマル時代のVPN課題を解決

堅牢性と利便性を両立する　VPN強制と“インターネットブレイクアウト”とは？

コロナ禍のテレワークで利用者やクラウドサービスが増え、VPNの逼迫（ひっぱく）やVPN接続を徹底できないなど、VPN運用の課題が浮き彫りとなった。セキュリティと利便性の両立を実現する解決策を紹介する。

[PR／イーマンズネット]

端末のVPN接続をソフトウェアで「強制」する

「社内に端末があるとき『業務に必要のないWebサイトにはアクセスできない』といったゲートウェイ対策を実施していれば、データの流出や不正なマルウェアのダウンロードといったリスクを抑えることができます。ですが、社外に端末を持ち出して、直接インターネットにアクセスしてしまうと、社内ネットワークで実施しているゲートウェイ対策が一切効かない状態となり、統制もできません。これは企業にとって大きな問題です」。こう指摘するのは、アシストの技術者、富士本 嘴祐氏（アクセスインフラ技術統括部）だ。

こういった問題を解決するのが、日立ソリューションズが開発した情報漏えい対策ソフトウェア「秘文シリーズ」の一つ、「秘文 Device Control」だ。端末のインターネット接続時に起きると想定される複数のセキュリティリスクを最小化できる。各端末にインストールしておけば、社内の業務サーバを利用する際の通信をVPNに接続させるよう「強制」可能で、VPN経由のインターネットアクセスを徹底するソフトウェアだ。

富士本氏は次のように力を込める。「秘文 Device Controlの大きなメリットは、利用者が全く意識しなくても使えるところです。直接インターネットに接続する経路を裏で禁止しているだけなので、利用者は普段通りVPNに接続して業務を遂行すればよいということです。セキュリティ製品にもかかわらず利便性を損なわないのは、とても喜ばれる点です」。

図1　VPN接続強制機能とは（出典：アシスト）

どのように端末の社外利用を判定するのか

社外には、自宅Wi-Fiだけでなく喫茶店や駅の公衆無線LANなどさまざまなアクセスポイントがある。秘文 Device Controlは端末が社外からの利用であると判定しVPN接続を強制するというが、どのように社内／社外のネットワークを判定するのだろうか。

その方法は二重の仕組みとなっている。秘文 Device Controlは、接続したアクセスポイントのSSID名が、あらかじめ指定した社内のSSID名と異なる場合に社外と判定し、VPN接続を強制する。しかしこの方法だけでは、悪意を持った従業員が、社内アクセスポイントと同じSSID名を偽装できてしまう恐れがある。このため社内にあるサーバに対してping通信（応答の確認）を実行し、応答が正常に返ってくることで初めて社内ネットワークと判定する。

「社内外ネットワークの判定にIPアドレスを使っている同様のソフトは多いが、『SSID名＋ping』でより厳密に確認できることが秘文 Device Controlの特徴です」と富士本氏は強調する。

© ITmedia Inc.

サーベイフォーム 仕様詳細

サーベイフォームで製品の導入状況や今後の予定、課題などを聞き取りしつつ、リードを獲得

- サーベイフォームについて
  - アンケートの設問内容は貴社にてご用意ください
  - 準備期間は、設問内容確定・ご共有後、約6営業日となります
- サーベイフォーム仕様
  - 設問タイプ：シングルアンサー、マルチアンサー、テキストボックス
  - 必須回答／任意回答：設定可能
  - 設問数：10問以内（「その他」の具体的な内容を記載する枠を設ける場合も1問としてカウントします）
  - 各問の選択肢：10個以内
  - 設問数・選択肢数が10問を超える場合は、原則対応できかねます。必要な場合、対応可否と追加料金のお見積もりを別途協議させていただきます。
- 設問の制作代行
  - 当社による設問設計は有償にて承ります（20万円／アンケート1点）
  - ヒアリングシートをご共有いただいてから約16営業日で公開可能です（複数本同時に制作する場合は要調整）
  - 設問制作にあたってご希望をインプットいただく場として、お打ち合わせのご実施が可能です（任意／30分程度）
- インセンティブ
  - 回答促進のためのインセンティブとして、3万円分のAmazonギフトカードが料金に含まれています
  - 貴社にてご手配いただく景品をインセンティブにすることも可能です
- 備考
  - サーベイフォームのみでは製品・サービスに対する認知獲得が難しいため、コンテンツを用いてのリードジェンとの併用をお勧めします

© ITmedia Inc.

ホワイトペーパー 仕様詳細

- ホワイトペーパーについて
  - 当社パートナーの編集プロダクションが取材・制作するPDFコンテンツです
  - ホワイトペーパーダウンロードセンターに掲載してリードを獲得します
  - コンテンツ内容は「製品／サービス紹介」「導入事例」「セミナーレポート」からいずれかお選びください

- コンテンツ仕様
  - ページ数：2ページ／4ページ
  - 文字数：約2,000文字／約4,000文字
  - 図版点数：2点まで／4点まで
  - 企画協力：なし（貴社ご記入のヒアリングシートをもとに取材）
  - 取材有無：あり
  - デザイン／ファイル形式：指定フォーマット（右図）、PDF（Web解像度）

- コンテンツ内容
  - セミナーレポートの取材は2セッションまでとなります
  - 製品／サービス解説、導入事例は、それぞれ下記の4章構成となります

製品／ サービス解説	1. 市場背景の解説 2. 課題の提示 3. 解決策の提示 4. 製品情報の紹介
導入事例	1. 導入企業紹介 2. 導入企業が抱えていた課題 3. 選定理由、具体的な課題解決方法 4. 導入によって得られた成果

- 備考
  - ホワイトペーパーの取材、制作進行は編集プロダクションに委託しています
  - 取材から掲載までの期間は約23～25営業日となります
  - ホワイトペーパーに掲載するイメージ図版、写真は貴社にてご用意ください
  - リード収集終了後もコンテンツは掲載され続けます
  - 遠方取材となる場合は、交通費ならびに遠方取材費を申し受けます（Web会議は追加費用なし）
  - 製品／サービス解説、導入事例、セミナーレポート以外の企画をご希望の際はご相談ください
  - 広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下費用が発生します
    - 初校の出し直し：¥100,000、念校以降の修正：¥50,000
- 二次利用について
  - 制作したホワイトペーパーは、ウェブ、印刷物問わず無償で二次利用していただけます（当社以外のメディアへの掲載も可能です）

制作料金

2ページ：￥200,000～

リードを含めた最低実施料金：￥600,000～

4ページ：￥400,000～

リードを含めた最低実施料金：￥800,000～

アイティメディア株式会社

IT管理者目線で比べる
DaaS vs. VDI、選択の基準は？

管理者を悩ませる2つの仮想デスクトップ、選択の基準とは

DaaS と VDI は共通点も多く、どちらを選ぶかを決めるのは難しい。管理性、カスタマイズ性、価格、接続性など、IT 管理者が選定に当たって確認すべきポイントを解説する。

DaaS vs. VDI

「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残されている。

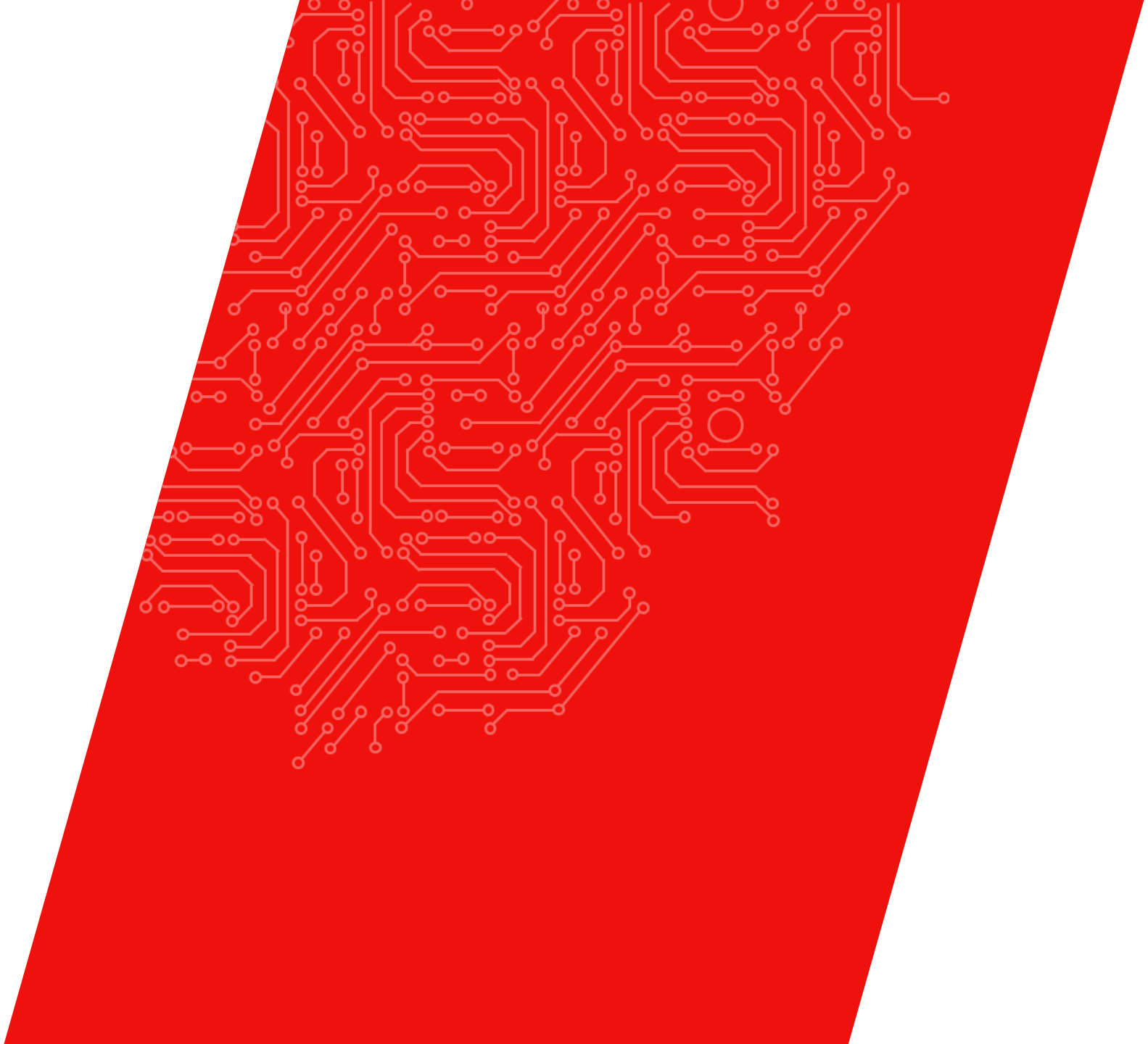
「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、ハードウェアの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上することなどである。しかし、セキュリティやライセンス、データのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残されている。

「DaaS」（Desktops as a Service）と「VDI」（Virtual Desktop Infrastructure）は、大きく異なると思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が多い。すなわち、デスクトップ管理が簡素化されること、

1 IT 管理者目線で比べる DaaS vs. VDI、選択の基準とは？

© ITmedia Inc.



ITmedia Inc.

■お問い合わせ

アイティメディア株式会社　営業本部

〒102-0094　東京都千代田区紀尾井町3-12

紀尾井町ビル 13階

https://promotion.itmedia.co.jp/contact